

令和元年度 第4回経営審議会議事録

日時 令和2年3月24日(火) 13:55～16:00
場所 本部棟2階 小会議室1
出席者 沖議長、兼信委員、末岡委員、晝田委員、中島委員、筒井委員、梶谷委員
(出席7/7名)
(監事) 大土監事(出席1/2名)
(事務局) 小西次長、駒井課長、井上室長、中島経理班長、谷副参事、鈴木主事、田淵総務班長

1 開 会

2 議事録の確認

令和元年度第3回(令和元年11月27日開催)の議事録案は承認された。

3 議 題

[1] 審議事項

(1) 第3期中期計画 令和2年度計画(案)について

- ・事務局から別添資料1(1-1～1-3)により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

【質疑応答等】

(問) P7[11]、P12[22]のインターンシップの実施について、どのようにして教育効果を上げるのか。県内企業と連携するのか。

(答) COC+推進事業のインターンシップは、初年度に比べて2年目は(参加)学生数がやや減った。企業、行政、地域とのインターンシップは非常に重要なものと認識している。内容の充実を図り、初年度と同数の参加者数は確保したいと考えている。

(問) 具体的にはどうするのか。

(答) COC 事業の終了を受けて見直さないといけない。岡山県立大学協力会の企業(約50社)と協力しつつ、良いインターンシップのやり方を考えたい。企業からは協力する旨の返事もらっている。

(問) 何年生が対象か、1・2年生はどうか。期間はどのくらいか。

(答) 3年生が対象。1・2年生についても考えているが、1・2年生は、企業は意識せずに社会人基礎力を付けることがメインとなる。3年生になると就職を考える。どちらが良いのだが、現在、ある程度就職を意識したインターンシップとしている。

期間は4週間だが、事前事後があるので実質的には3週間くらい。

(意見) 教育としてのインターンシップでは本当に何年生に行ってもらえるのが良いか、企業は採用との考えもあるので、大学はしっかり議論して構築していく必要がある。大学の狙いとずれがあると問題だ。就職を意識しない教養課程の学生が行くのも人数も増えて良いと考える。

(意見) 長期なので学内である程度専門分野を勉強した上で、企業にお世話になるだけでなく小さいテーマでも自分で仕事を完結してみることができると良いと思う。それを考えると3年生が良い。短期インターンシップとしては地域協働演習がある。

(意見) 大学としてこれを伸ばしたいのか、どうしたいのかとの意思を入れて示すべき。

- (問) P17[32]の TOEIC 550 点以上の取得学生の 1 年次から 2 年次への伸び幅 0 点以上というのは目標としてはどうか。実態はともかく目標を設けて、そこに向かっていくのが本来の姿である。
- (問) P27「3 資金計画」の翌年度への繰越金 564 百万円と前年度よりの繰越金 632 百万円と、P26「2 収支計画」の目的積立金取崩額 168 百万円と合っていないが良いのか。
- (答) 減価償却については、あくまでもシミュレーション段階の数値を含め算定しており、合わなくても問題ない。
- (意見) TOEIC については非常事態と認識している。学生のグローバルに対する考え方、英語をマスターするというモチベーションが薄い。インターンシップは「社会との窓口」、英語は「世界との窓口」と捉え力を入れる。
- (問) P14[27]学部を越えた研究分野の連携の推進とは具体的には何か。
- (答) 学内競争的資金は自学部単独の研究が多かったが、本学の特長である 3 学部がお互いに連携しプロジェクトを作って発信していくことが、外部に対しても効果が高いと考えている。
- (問) (実施は) これからののか。
- (答) 去年から他学部と連携しているものについては積極的に採択している。
- (問) P19[38]県との連携は具体的にはやっているのか。
- (答) 共同研究である。従来の産業労働部に加えて警察本部、教育委員会、危機管理課から学部が連携したオファーを受けた。また、去年から県庁連絡会議で説明をしたり、県幹部に県大シーズのプレゼンを行ったり県民室で展示したりした。
- (問) 知事と理事長とが議論する場はないのか。
- (答) 部長や副知事とは話をする。県側と濃密に協議できる 1 年だった。大学としては、県の要望に対応できるよう学内の教員に頑張ってもらいたいと感じた。
- (問) 科研費、寄附金等外部資金の目標がもう少し高くなっても良いのでは。
- (答) 教員にはどのような研究をしているか発信してほしいと伝えている。
- (問) P9[15]図書館アンケートによる満足度はどうか。利用状況は。
- (答) 一般図書を増やしてほしいとの要望がある。専門領域が多く予算的には厳しい。県立図書館と連携し取り寄せている。図書館では学生に図書館に足を向けてほしいので蔵書フェアやブックフェア、ミーティングスペースとして活用等やれることをやっている。
- 利用状況を他の大学との定量的な比較はしていないが専門書が中心であるので利用率は厳しい。シーズ展のような研究発表の場として図書館の利用をどんどん活用していきたい。数年たたないと結果が上がってこない。今後、地域の方々も巻き込みながらのイベントを考えている。
- (問) P15[再掲 4]岡山創生学の課題は何か。受講者数はどうなっているのか。
- (答) 入学から全学必修の科目もある。創生学すべての単位を取って地域創生推進士を 1 期目で 28 名、2 期目で 27 名が誕生した。1 期目は情報工学部、2 期目は保健福祉学部の学生が多く、(2 期目は) 定着率が上がりそうである。質の保証はまだと感じている。振り返り、次のステップアップについて教員のフォローアップが必要である。
- (問) P16[30]コミュニティキャンパスおかやまはどのくらい実施したのか。
- (答) 10 いくつか実施している。地域のニーズを聞いた上で実施した。よりよくするため見直しを行う。県大だけでなく他の大学ともいっしょにやっていく。

(問) P19[39]ユニバーシティ・アイデンティティ基本方針はまだ外に出していないのか。

(答) 基本方針案を出したばかり。学科がどのような方向でいくかまで考えて文書にまとめたい。

(2) 組織改編に伴う規程等の新設・改廃等について

- ・事務局から資料1により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

【質疑応答等】

(問) 地域創造戦略センターに外部人材はいるのか。アドバイザー制度は必要ではないか。

(答) 学内(の教職員)のみ。コーディネーターは元企業の方である。アドバイザー制度も必要かもしれない。

(3) 公立大学法人岡山県立大学業務方法書の一部改正(案)について

- ・事務局から資料2により経緯を含めた説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。なお、規程改正案において空欄であった岡山県条例の「第 号」は岡山県公報で確認の上、追記したい旨を説明し了承を得た(※岡山県条例第3号であった)。

(4) 公立大学法人岡山県立大学役員報酬規程の一部改正(案)について

- ・事務局から資料3により経緯を含めた説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

(5) 公立大学法人岡山県立大学職員給与関係規程の改正(案)について

- ・事務局から資料4により経緯を含めた説明があり、原案どおり承認され、役員会に報告することとされた。

(6) 令和元年度補正予算(第3回)(案)について

- ・事務局から資料5により経緯を含めた説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

(7) 令和2年度当初予算(案)について

- ・事務局から資料6により経緯を含めた説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

【質疑応答等】

(問) 保健福祉学研究の海外研修についてイタリアの今の状況から考えるどうかと思う。

(答) 高橋副学長がイタリアの大学と協定を結んだ。大学院の単位互換制度を計画しているが、今、具体的な実施予定はない。

(問) 受託研究費につき大学として10%とかは取らないのか。

(答) 間接経費は10~30%を取っている。数は多いが、1件があまり大きくない傾向はある。

(問) 目的積立金取崩を行わないとダメということか。

(答) 来年度は退職者が(今年の3人から)8人に増える年度である。それを見込んでの目的積立金である。基本的に厳しい認識であり、収入を増やし支出を減らすという合わせ技しかない。

(8) 令和3年度岡山県立大学学則の一部改正について(案)

- ・事務局から資料7により経緯を含めた説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

【質疑応答等】

(意見) (学科改編により) 分かりやすくなったということですね。

(問) 子ども学科では保育士の免状は取れなくなるのか。

(答) 従前のおり。

(意見) 保育士が取れる学科の定員が増える。

(問) 建築学科について、旧造形デザイン学科に建築の教員がいたのか。

(答) 従来から領域はあったが、受験生に分かりやすくなった。受験は学科単位で行うので。

(問) 教員の増減はないのか。

(答) 常勤教員7名うち教授3名が必要等の定めがあるので満たすようにする。領域があったが、学科と領域とでは外からの考え方、見方が違うので学科に上げた。建築はオリンピック後業界が心配、保福は私学の後追いとなるので、本学として特色を出さないといけないと考えている。

[2] 報告事項

(1) 職員の採用について

- ・事務局から資料8により報告があった。